

II 学校教育目標

1. 教育目標

児童と地域社会の実態に立ち、
知・徳・体の調和がとれた、人間性豊かで心身ともに健やかな児童の育成

2 教育方針

- (1) 確かな学力育成のために、基礎・基本を重視するとともに、体験的学習・問題解決学習等、指導法を工夫・改善して、一人一人の個性や能力を生かす教育を推進する。
- (2) 道徳的心情、判断力、実践意欲・態度を養う道徳教育の充実をめざし、自分を大切にし、命を大切にする教育を推進する。
- (3) 自ら進んでたくましく生きるための基本的な生活習慣を見直し、健康の保持増進・体力向上に努める能力と態度を養う教育を推進する。
- (4) 全教育活動を通して、思いやりのある人間性豊かな児童の育成を図り、自他の生命を尊重し、人とのかかわりを大切にする人権尊重の教育を推進する。
- (5) 家庭および地域との連携や教育活動への参加を図るとともに、伝統文化を大切にし、地域に根ざした教育を推進する。

3 めざす児童像・教師像・学校像

《 めざす児童像 》

知・・・めあてをもち、よく考える子
徳・・・明るく、助け合う子
体・・・健康で、元気・根気のある子

《 めざす教師像 》

- ・子どものよさや可能性を見つけ、伸ばす教師
- ・自己研鑽に励み、切磋琢磨し合う教師
- ・保護者および地域から信頼される教師

《 めざす学校像 》

- ・一人一人が生き生きと活躍する学校
- ・安心、安全で楽しい学校
- ・保護者および地域から信頼される学校

4 学校経営の基本方針

- (1) 学習規律やあいさつを中心とする基本的な礼儀や生活習慣を重視した指導を行う。
- (2) 生徒指導の3機能を生かし、互いを認め高め合う学級・学年・学校経営を行う。
- (3) 児童の関心・意欲を高め、主体的・対話的で深い学びのある楽しい授業を行う。
- (4) 迅速かつ適切で、組織的な生徒指導の実践に努める。
- (5) 学校力、教師力の向上をめざし、自己研鑽・相互研鑽に励む教職員集団をめざす。
- (6) 保護者および地域と連携した教育活動に努める。

5 中期目標と方策

(1) 一人一人が生き生きと活躍する学校に向けて

目標…「自ら学び、自ら考え、学びをつくる子」をめざす。

- ・規律ある学習環境をつくる。
- ・一人一人の学習意欲を高め、学ぶ楽しみのある学習活動を展開する。

方策…生徒指導の3機能を生かした学校行事・学級経営・授業づくりを行う。

- ・日頃の声かけや面談・授業観察等を通して、楽しい授業を行うための授業力・教師力の向上に向け自己研鑽に励む教職員集団を育成する。
- ・授業力向上、学力向上に向けて、「聴き合える学習集団づくり」「金沢型学習スタイル」について毎月シートによる検証を行う。
- ・全校であいさつや姿勢、廊下の歩行、授業開始等のルールを整えていく。
- ・学習支援や学習環境の整備を行い、きずな読書や家庭学習等で家庭の協力を得る。

(2) 安心、安全で楽しい学校に向けて

目標…「友だちと認め合い、お互いに高め合う子」をめざす。

- ・一人一人が大切にされ認められる学級・学年・学校をつくる。
- ・生徒指導上の問題には、迅速かつ適切に組織で対応する。

方策…いじめの予防、早期発見、早期発見に努め、定期的に調査し教育相談を行う。

- ・友だちのよいところに気づき、相手を認めるとともに、自分も他者から認められる体験をすることで自己有用感を高める取組を行う。
- ・ペア学年や縦割り活動、学校行事等を活用し、誰とでも仲良くしたり、役割に応じて活躍したりできる場を意識的につくる。
- ・問題行動等の「報告・連絡・相談」や共通理解を迅速にかつ組織的にを行い、解決に向けた体制を整える。
- ・安全学習、安全指導、環境の整備、危機管理を徹底させる。

(3) 保護者および地域から信頼される学校に向けて

目標…地域とともにある学校をめざし、学校・家庭・地域の連携・協働を推進する体制づくりをさらに進める。

方策…児童の様子や成長が伝わるような学校だより・学年だより・学級だより、ホームページを工夫して作成したり、授業参観や懇談会、育友会の場を積極的に活用したりして、学校の状況や課題、取組について広報し協働意識を高めていく。

- ・学校関係者評価を活用し、成果と課題を明らかにしながら学校改善に取り組む。
- ・学校評議員会、地域協働本部を組織し、地域との連携を深めていく。

6 今年度の重点的な取組目標と具体的な方策

- (1) 学習準備や姿勢、話し方、聞き方、あいさつ、生活習慣を整えていく。
 - ・ 目指す姿や取り組み方法を児童に見える化し、学習基盤を整えていく。
 - ・ 教師間および保護者と密接に連携をとり、家庭学習や生活習慣を充実させていく。
- (2) 基礎・基本を徹底と児童の意欲を高める授業を推進する
 - ・ みはらしタイム及び長坂タイムを計画的に実施し、基礎学力の定着を図る。
 - ・ 学校司書や図書ボランティアと連携を図り、読書指導の充実を図る。
 - ・ 学習課題や導入のくふうを行い、どの子にも楽しさがある授業作りを行う。
 - ・ タイムマネジメントを意識し、学びを実感できる授業を展開する。
- (3) 金沢型学校教育モデル実践支援事業「金沢型学習スタイル」を推進し、授業力の向上を図る。
 - ・ 「金沢型学習スタイル」の重点的に行う取組と検証、授業改善の共通実践を行う。
 - ・ 対話的に伝え合い、よりよい考えや表現に高めるための支援を工夫する。
 - ・ 外部講師の招聘、授業公開、相互参観等による研究の充実を図り、授業力の向上をめざす。
- (4) 豊かな人間性や社会性の育成を図る。
 - ・ 自他を理解し、豊かに関わり合うことができる「コミュニケーション力」を育む。
 - ・ 児童の実態を把握し、生徒指導の3機能を生かした積極的かつ組織的な指導を推進する。
 - ・ 「金沢ふるさと学習」の充実を図り、金沢への誇りと愛着を培う。
 - ・ グッドマナー推進に向けて、野田中学校校区4校で協働的な取組を行う。
- (5) 個々の児童に寄り添い、信頼される学校作りを行う
 - ・ 児童理解の会やケース会議を定期的に行い、特別支援の観点で個人を支えていく。
 - ・ 児童全員との個人面談を学期に1回行う。
 - ・ いじめアンケートを定期的の実施し、いじめの予防、早期発見、早期対応につとめ、職員間のコミュニケーションを活発にする。
- (6) 心身ともに健康で、根気強く実践する能力と態度を養う。
 - ・ 保健的行事や保健学習を通して、生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための基礎を培う。
 - ・ 運動環境を整えるとともに、日常生活において体育や健康に関する活動の実践を促す。
 - ・ う歯治療率の向上、歯みがき指導の充実など、健康教育を推進する。
- (7) 安全管理および安全教育を推進する。
 - ・ 教室環境や学校環境を整え、事故防止や事故の対応に組織的に取り組む。
 - ・ 保護者や地域の人々との連携や協力による安全な地域づくりに努める。
 - ・ 安全教育や防災教育を通して、自他の生命を大切にす指導に取り組む。
- (8) 家庭や地域との連携を密にし、信頼関係を深めることに努める。
 - ・ 地域の自然・文化・人材等の「地域の教育力」を積極的に活用するために、地域協働本部を設置する。
 - ・ 教育活動を公開するとともに広報活動を工夫し、積極的に説明責任を果たす。
 - ・ P T A行事や研修会などで、教職員と保護者との交流に積極的に取り組む。

7 教職員の業務適正化に向けた具体的な取組

- ・業務適正化に向けた意識改革と共通理解の研修会の開催
- ・勤務時間の把握と適正化に向けた指導
- ・業務適正化委員会による課題の洗い出しと具体的な方策の検討・実施
- ・業務改善に向けた提案の募集と改善策の検討・実施
- ・時間外勤務時間の縮減に向けた目標時間の設定
- ・定時退庁日の行事予定への掲載
- ・校務能率の改善に向けたサーバー内の整理整頓、運用基準の策定
- ・K-12 掲示板の活用による、会議や打合せ時間の縮減
- ・学年内の教材の共有化、教材研究・評価の分業化と協働化の研究
- ・保護者対応時間の設定に向けた PTA との協議および保護者への周知
- ・教頭業務の分業化
- ・職員室の機能改善、環境整備
- ・学校予算の効率的な運用による事務作業時間の縮減